

(再評価)

河川事業

再評価原案準備書説明資料

あばしり

網走川総合水系環境整備事業

令和7年度
北海道開発局

目 次

1. 流域の概要		1
2. 網走湖呼人地区かわまちづくりの概要		5
3. 網走かわまちづくりの概要		16
4. 事業の投資効果		27
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性		32
6. 地方公共団体等の意見		33
7. 対応方針(案)		34

1. 流域の概要

1.1 網走川水系の概要

網走川は、その源を阿寒山系の阿幌岳に発し、山間部を流下して、津別町市街において津別川を合わせ、平野部を流れながら美幌町市街において美幌川と合流します。美幌町を貫流し大空町において網走湖に至り、湖から流れ出て網走市街地を経てオホーツク海に注ぐ、幹川流路延長115km、流域面1,380km²の一級河川です。

その流域は、網走市、津別町、美幌町、大空町の1市3町からなり、北海道オホーツク圏における社会・経済・文化の中核をなしています。流域の土地利用は、森林等が約77%、農地が約22%、宅地等の市街地が約1%となっています。農耕地では、甜菜やタマネギが栽培され全国有数の産地となっています。網走川はワカサギやサケ、カラフトマス等が遡上するとともに、網走湖を中心にワカサギやヤマトシジミ、シラウオなどを対象とした漁業が行われています。流域内には女満別空港や重要港湾に指定されている網走港が整備されており、陸路ではJR石北本線、国道39号、240号、243号等の基幹交通施設があり、交通の要衝となっています。

項目	諸元
幹川流路延長	115km
流域面積	1,380km ²
流域自治体	網走市、大空町、美幌町、津別町
流域自治体人口	約6.0万人

凡 例	
	流域境界
	市町村界
	鉄道（JR線）
	国道
	基準地点
	国立・国定公園



図 網走川流域図

1. 2 河川環境の現状と課題

○水環境についての現状と課題

網走川及び美幌川の水質は環境基準を満たしていますが、網走湖については環境基準を達成するには至っておらず、アオコや青潮が発生している状況です。しかし、網走川大曲堰の運用も進められており、引き続きモニタリングが必要です。

○自然環境についての現状と課題

網走川にはサケやワカサギ等の遡上や産卵床が見られ、また、網走湖及び網走湖下流域の汽水区間にはヤマトシジミが多く生息しています。また、網走川中・下流域の河岸に連続する河畔林や、網走湖周辺の湿地帯は、オジロワシやオオワシなどの猛禽類の休息場やアオサギなどの営巣場・休息場となっています。このため、河川整備を実施する際には、これら多様な生物の生息・生育・繁殖環境の保全に配慮する必要があります。

○河川利用についての現状と課題

網走湖より下流の網走市街地の高水敷には、水辺プラザとしてオホーツク文化・交流センターを核に多目的親水広場や緩傾斜護岸が一体的に整備されており、イベントやカヌー体験、散策などに利用され、「にぎわいのある水辺」が創出されています。網走湖畔にはキャンプ場や多目的スポーツ施設が整備されており、スポーツ、散策、ワカサギ釣りなど四季を通じて、多くの観光客に利用されています。今後は、観光振興など、地域の活性化に結び付けていくことが必要となっています。

1. 3 河川整備計画での位置づけ

平成27年9月に策定された網走川水系の河川整備計画には、総合水系環境整備事業を推進することが記載されています。

1. 4 整備方針

○水環境についての方針

良好な水辺空間の創出を目指し、特に水質や流況の改善が必要な箇所において、地域や関係機関との連携を図りつつ、水質や流況の改善に取り組みます。

○自然環境についての方針

網走湖が有する豊かな汽水環境や、河畔林や変化に富んだ流れを形成する水際、瀬・淵など、多様な生物の生息・生育・繁殖の場となっている河川環境については、治水面と整合を図りつつ、保全に努めます。また、関係機関との連携により魚類等の移動の連続性の確保や産卵の場の形成に努めます。

○河川利用についての方針

網走川の特徴である水面利用等、人々が川とふれあい親しめる場として利用されるよう地域住民や関係機関との連携に努めるとともに、川と子供たちのふれあいの場を保全し、自然体験学習等への利用促進を図るほか、景観、歴史、文化など河川が有する魅力を地域の活性化に繋げるために、地域のまちづくりとの連携に努めます。

1.5 現在または今後実施すべき箇所

網走川総合水系環境整備事業の実施状況は以下のとおりです。

箇所名	整備時期	整備内容	箇所毎の評価種別	
網走湖呼人地区 かわまちづくり	令和8年度～ 令和17年度	・河川管理用通路 ・取付道路 ・親水護岸、緩傾斜整備、高水敷整正 ・利活用拠点 ・案内看板	○新規箇所	再評価
網走かわまちづくり	平成29年度～ 令和10年度	・河川管理用道路(ボックスカルバート) ・取付道路 ・モニタリング	○継続箇所	

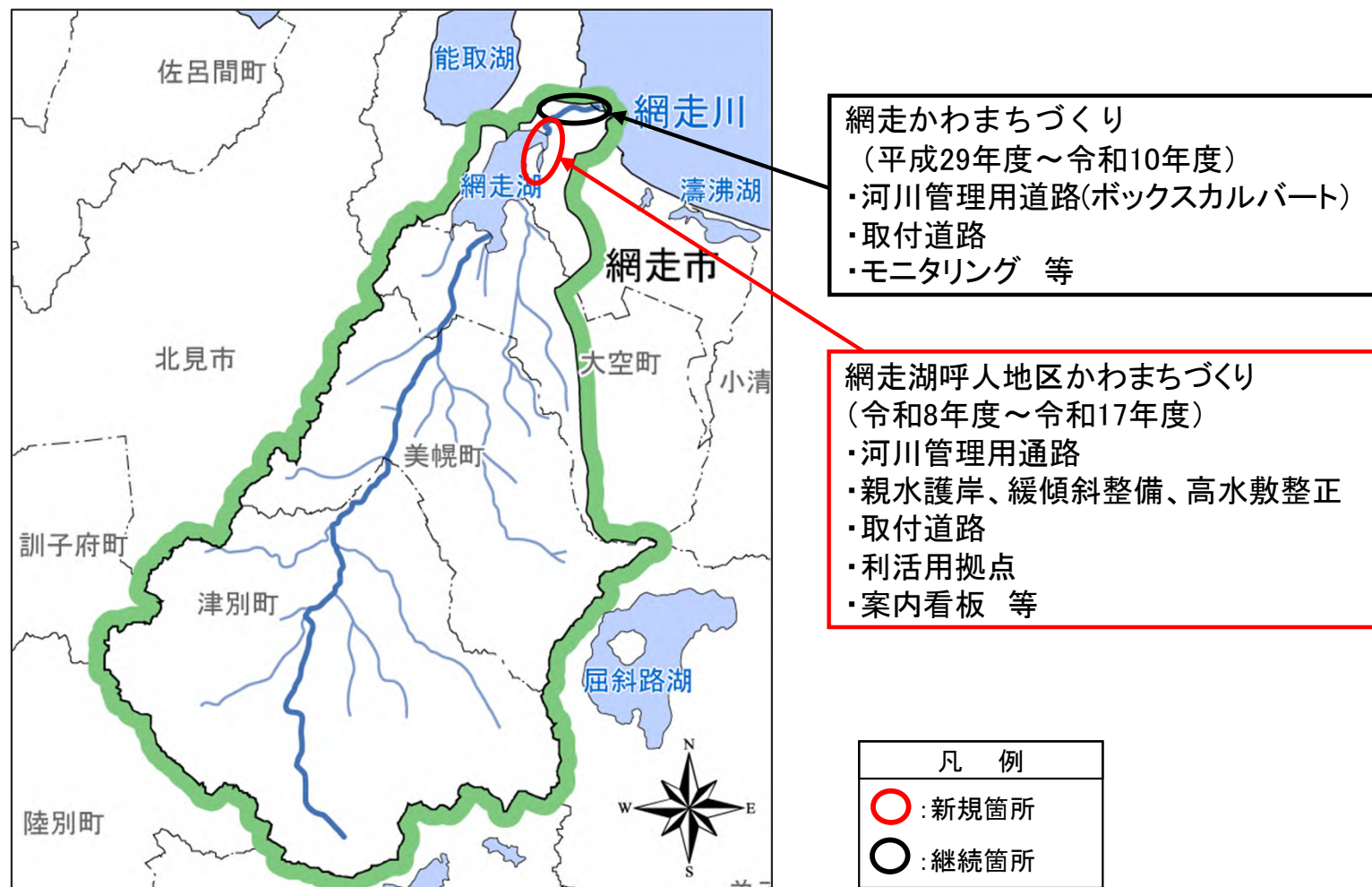


図 事業箇所の位置図

(2) 地域の現状と課題

網走市は、未曾有の感染拡大をもたらした新型コロナウイルスの影響による大幅な観光入込客数の減少から回復傾向にあるものの、平成10年度のピーク時に比べて約100万人減少しており、依然として周辺の地域経済への影響が懸念されています。

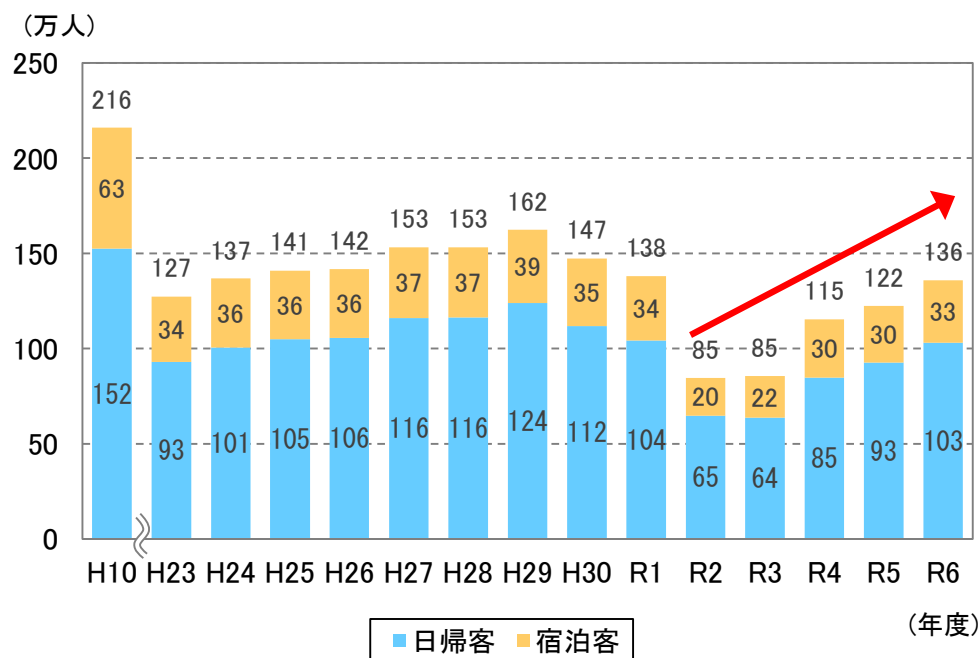


図 網走市の観光入込客数の推移

出典：北海道観光入込客数調査報告書

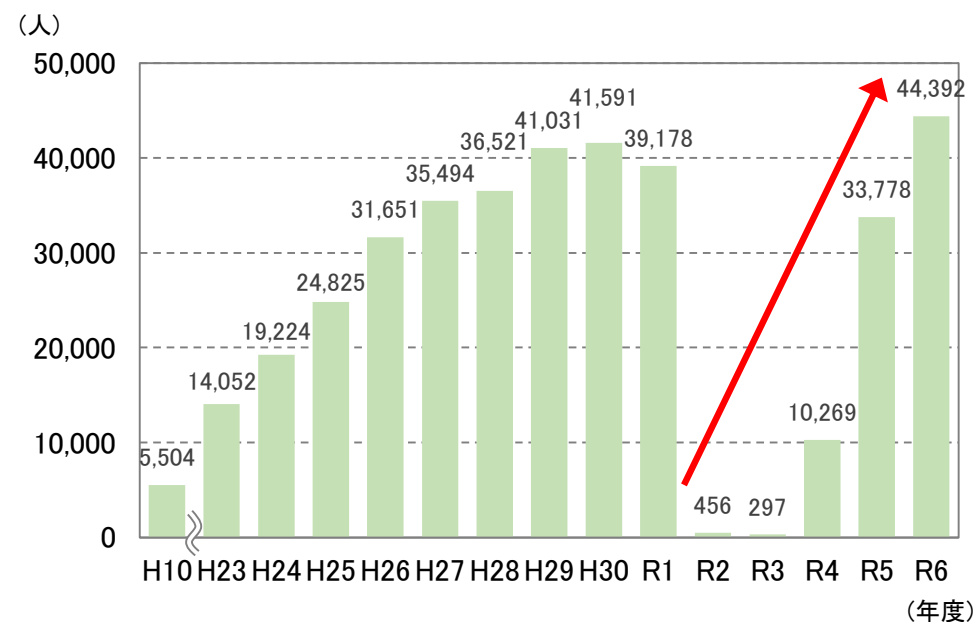


図 網走市の外国人宿泊者数の推移

出典：北海道観光入込客数調査報告書

注) 令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染者数の拡大を受けた外出自粛や休業要請、緊急事態宣言等の施策実施により、令和2年度以降の観光入込客数が大きく減少した。

(3) 事業箇所周辺地域の現状と課題

新規箇所

網走湖にはミズバショウ群生地等の豊かな水辺環境が広がり、大曲湖畔園地、ホテル、キャンプ場等の観光交流施設が点在しているものの、それらを繋ぐ観光動線の整備が不十分な状況にあります。また、網走湖は網走中心市街地から約7km離れており交通アクセスが良好でないため、効果的な誘客が行われておらず、網走湖の持つ観光ポテンシャルを十分活かし切れていません。

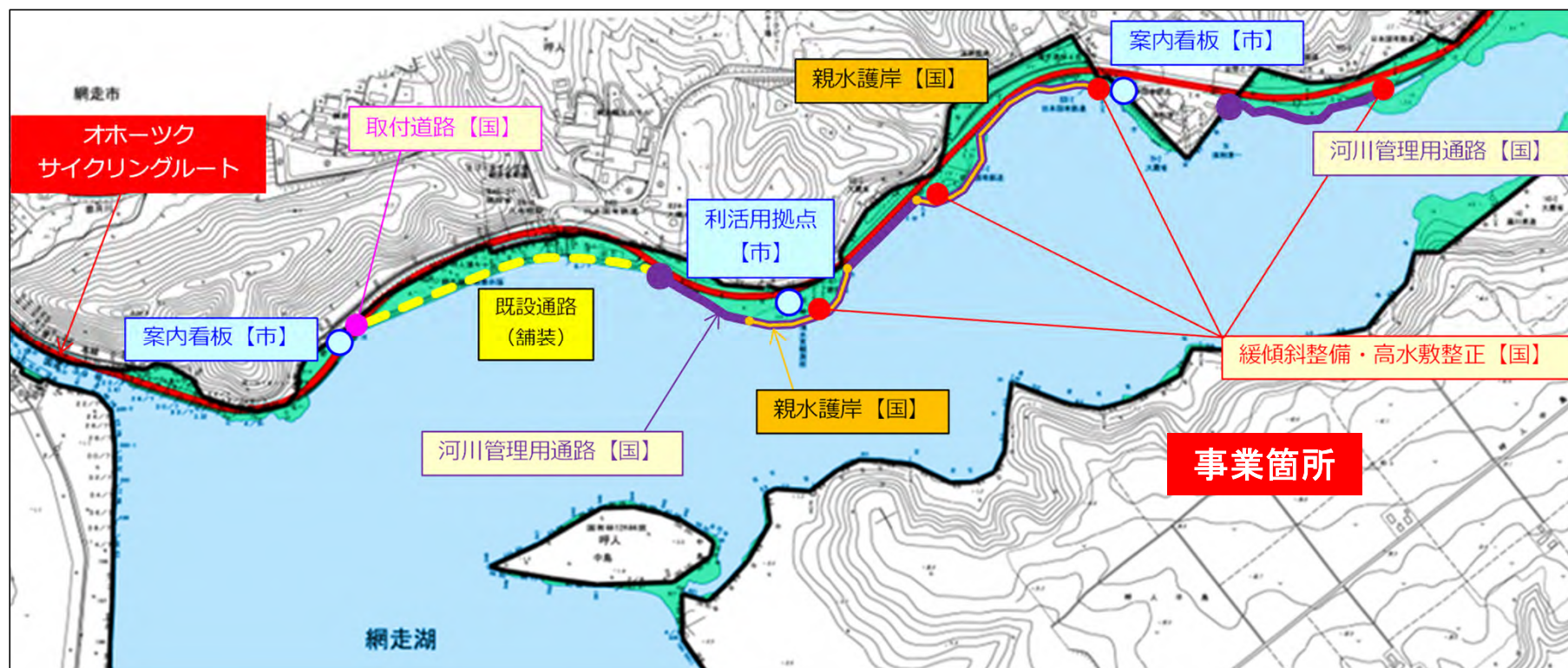
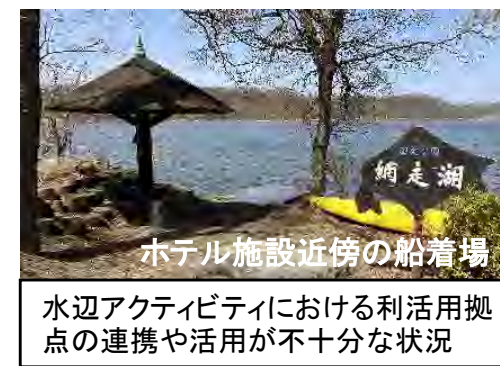
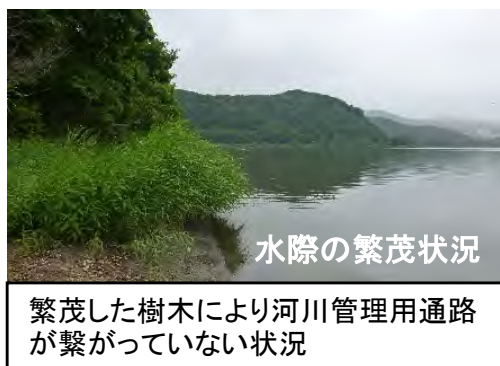


図 事業箇所周辺地域の状況



事業箇所である網走湖呼人地区では、呼人浦キャンプ場を中心に、夏はキャンプ・デイキャンプ、カヌー等の水辺アクティビティ、冬はワカサギ釣り、ファットバイク等、網走湖と自然の恵みを利用した様々なアクティビティが年間を通じて展開されています。

【事業箇所の水辺利用状況】

オホーツク流水館 ※1	32,595人/年
オホサイ ※2	約200人/年

出典:

※1) 株式会社伝書鳩 「網走市の2024年度観光客入り込み数」(2025年6月6日掲載)

※2) 「オホサイ2025」(2025年6月27日)

【水辺の観光・交流施設】



写真 ワカサギ釣り



写真 呼人浦キャンプ場



観光客数：32,595人(令和5年度)

写真 オホーツク流水館

【イベント開催状況】



参加人数：約200人(令和7年)

写真 オホサイ



写真 オホーツク SEA TO SUMMIT

【市民の利用状況】



2. 1. 3 地域開発の状況

新規箇所

網走市の人口は、約3.2万人（令和7年）で減少傾向にあり、少子高齢化の影響で65歳以上の高齢化率は増加傾向にあります。

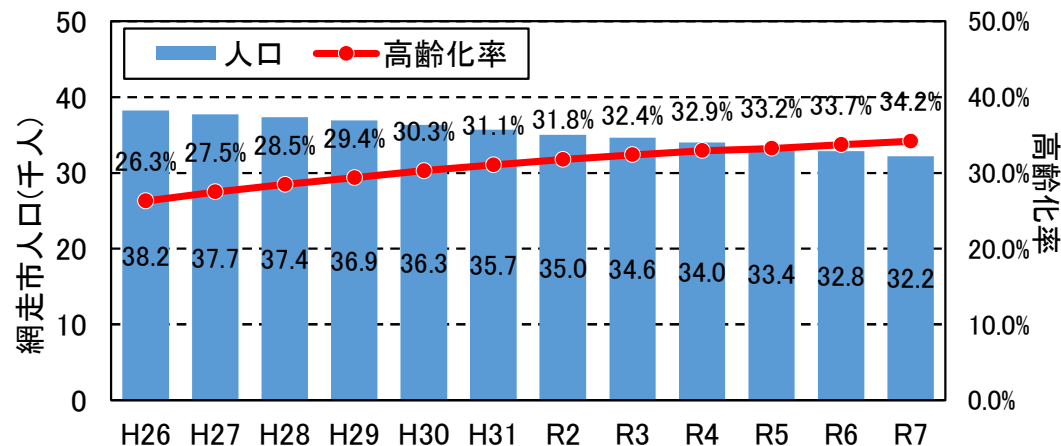


図 網走市人口および高齢化率の推移

出典：住民基本台帳人口（各年1月1日現在）

2. 1. 4 地域の協力体制

網走市では、市内小学生・教育委員会・網走開発建設部・民間事業者やボランティアスタッフが参画する「あばしり学講座」を開催しており、水辺等での環境教育が推進されています。

網走川流域の会は、川でのアクティビティを安全に行う人材育成のため、網走川で「RACアシスタントリーダー研修会」を開催しており、地元主体の河川環境教育が行われています。

また、網走サイクリング協会は、網走湖畔の一部を使用した「オホサイ(オホーツクサイクリング)」を関係機関と共催しており、網走湖周辺のサイクリング利用が図られています。



写真 あばしり学講座
(鮭の水揚げ見学)



写真 RACアシスタントリーダー
研修会

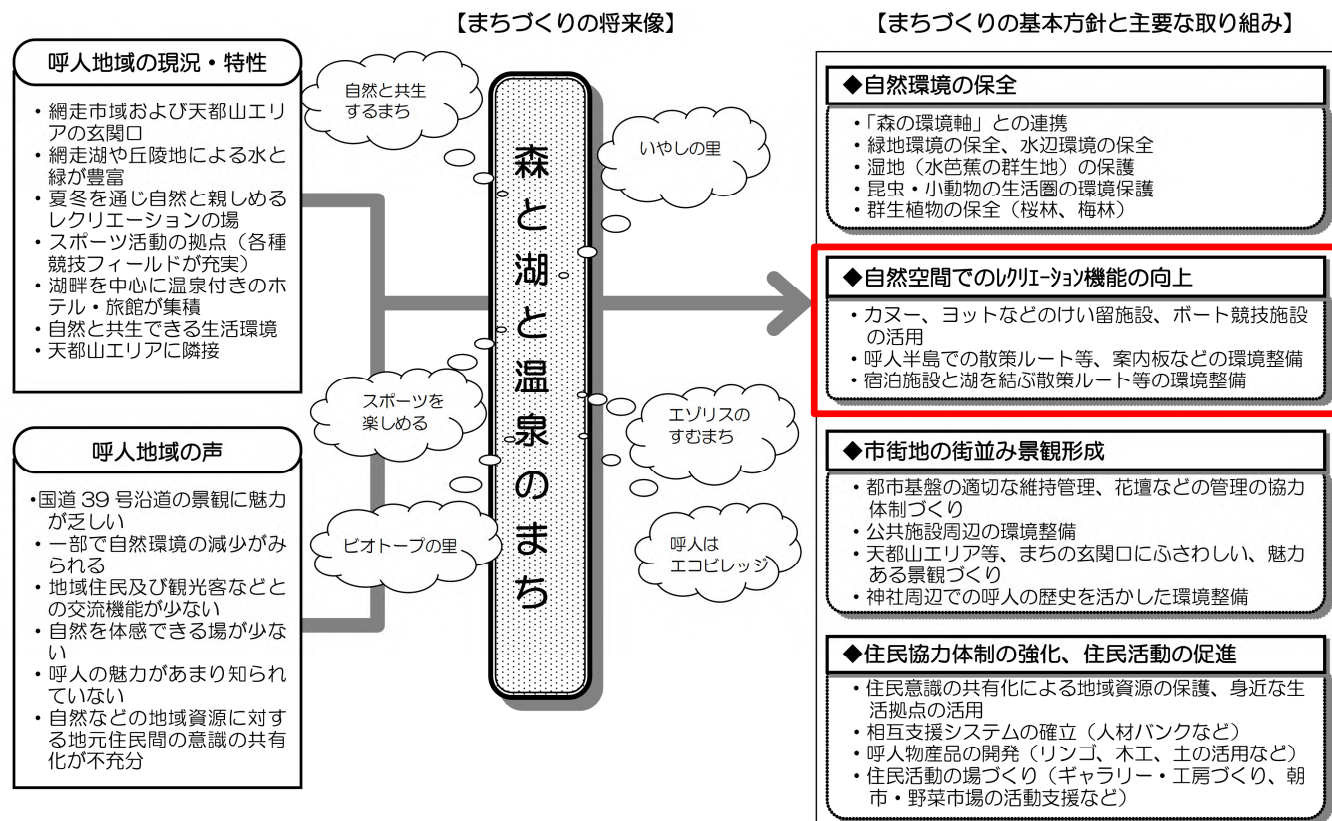


写真 オホサイ

網走市は、平成29年に改定した「網走市都市計画マスタープラン」では、「自然をいつくしみ、こころ豊かに市民がつどい、オホーツクの文化を創造するまち・網走」を基本理念として、「豊かさを実感できるまち」「自然を守り、育てるまち」「人と人の交流があふれるまち」を目標としています。

網走湖の呼人地区では、アクティビティを中心とした水辺空間の観光利活用推進による賑わいの創出を目指すとともに、網走川における新たな観光拠点の構築による網走市街地～網走湖の観光交流人口の増大が推進されており、網走市のまちづくりにおいて網走湖は重要な役割を担っています。

＜「網走市都市計画マスタープラン」における網走湖呼人地区のまちづくり構想＞



2.2 事業概要及び進捗状況

(1) 事業の河川整備計画等の位置づけ

平成27年9月に策定した網走川水系河川整備計画では、河川空間の利用について以下の記載があります。

【河川環境の整備と保全に関する目標】

- ・ 河川空間の利用については、良好な河川環境を保全しつつ、地域のニーズを踏まえ、多くの人々が川に親しめる空間となるよう、関係機関や地域住民と一体となった取り組みに努める。

【河川環境の整備と保全に関する事項】

- ・ 河川空間の整備にあたっては、河川環境管理基本計画をふまえ、生活の基礎や歴史、文化や風土を形成してきた網走川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣りなどの趣味、イベントなどの河川利用、環境学習の場などとして安全に活用できるよう、地域の活性化に寄与する場の整備に努める。その際、沿川の自治体の河川に関連する取り組みや地域計画等との連携・調整を図り、河川利用に関する多様なニーズを十分反映した河川整備に努める。

(2) 事業の目的と経緯

本事業は、網走湖呼人地区を網走湖における地域観光の拠点に位置づけ、観光客を積極的に誘致し地域の歴史・文化・観光等に関する情報を発信するとともに、日常的に水辺を利用してもらい、水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいを創出することを目的としています。

網走市では、網走市・NPO・地元住民・網走開発建設部等で構成する意見交換会の場として「網走かわまちづくり検討会」(現在は「網走ウォーターフロント協議会」に名称変更)を設置し、かわまちづくりにおける整備内容や利活用、維持管理計画を議論しています。

また本計画は、「かわまちづくり支援制度」を活用した「網走湖呼人地区かわまちづくり」として国土交通省に申請し、令和7年8月1日に登録されました。

(3) 施設整備の方針と内容

新規箇所

方針	整備内容名	内容、期待される効果
水辺へのアクセス性の確保	河川管理用通路、 親水護岸、 緩傾斜整備・ 高水敷整正、 取付道路の整備	河川管理用通路・取付道路を整備することにより、網走湖畔までのアクセス性が向上するとともに、網走湖畔に親水護岸・緩傾斜を整備することにより、水遊びやカヌー等の昇降が容易になります。
利活用拠点の連携・活用	利活用拠点の整備	既存施設を網走湖畔における利活用拠点や観光交流施設として有効活用することで、賑わいを創出します。
周遊性の向上	案内看板の設置	案内看板の設置により周辺の観光交流施設利用者を網走湖畔に誘導し、網走湖周辺の周遊性向上が図られます。

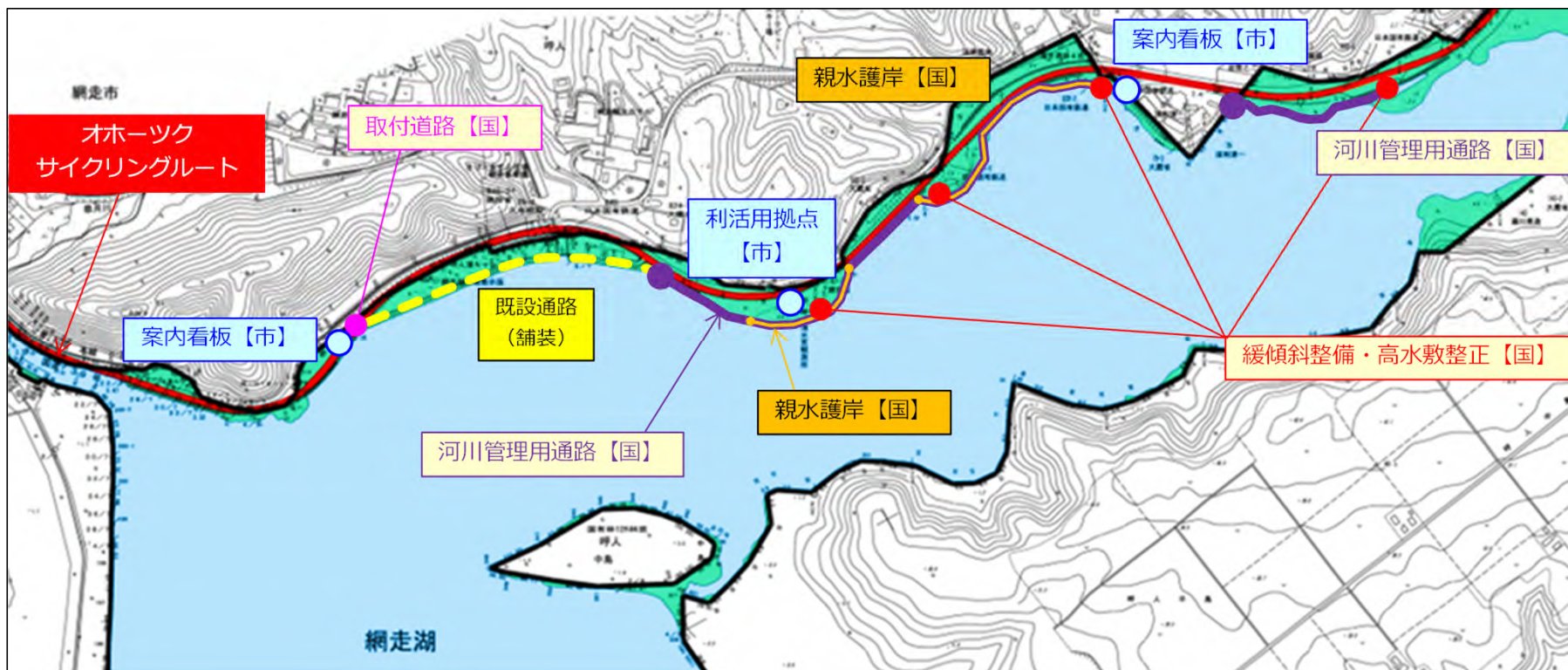


図 整備予定箇所

(4) 具体的な整備イメージ

新規箇所

＜河川管理用通路、親水護岸・緩傾斜整備・高水敷整正、

利活用拠点、取付道路の整備＞



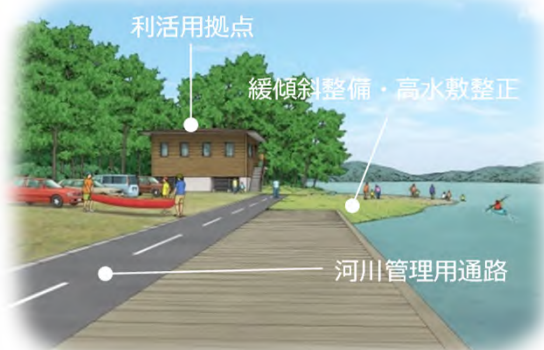
【河川管理用通路】

網走湖畔の水辺の連続性の確保や新たな観光動線の創出を目的として、呼人浦キャンプ場から網走湖畔のホテル施設までの水辺に河川管理用通路を整備し、夏季のサイクリングや散策、冬季のファットバイクのルートや、網走湖でのボート大会開催時の伴走路として活用します。

【親水護岸・緩傾斜整備・高水敷整正】

水遊びやカヌー等の昇降が容易になるよう、河川管理用通路沿いに親水護岸(緩傾斜路、階段護岸等)を整備し、水辺の親水性・利便性向上を図るとともに、親水スペースとして網走湖畔に浅瀬・緩傾斜路・親水護岸・駐車スペース(高水敷整正)を整備します。

親水スペースは、イベント開催場所や水難事故時の救助活動拠点(救助艇の離発着場所等)としても活用します。



【利活用拠点】

既存施設を、水辺アクティビティやサイクリングの利活用拠点、水難事故時の救助活動拠点(スローロープや浮き輪等の緊急時用装備の備蓄等)として有効活用します。

親水スペースとしても利用可能となるよう、駐車スペース(高水敷整正)を整備します。

【取付道路】

国道39号と呼人浦キャンプ場を繋ぐ取付道路を整備し、網走市街地や周辺からのアクセス性向上を図ります。

また、高齢者や障がい者等が安全・安心に利用できるよう、周辺の景観との調和に配慮しつつバリアフリー・緩傾斜化を行います。



＜案内看板の設置＞

・網走湖畔の河川管理用通路へ誘導する案内看板を整備します。また、河川管理用通路に周辺の観光交流施設までの距離や進行方向をサイクリング利用者等に注意喚起するためのピクトグラムを標示します。

・案内看板のデザインについては、既の実施済みの「網走かわまちづくり」で整備した内容と整合を図ります。

【案内看板の設置例】

＜案内看板（現在地及びモデルコース）＞



＜案内看板（施設距離標）＞



2.3 事業の進捗の見込み

2.3.2 今後の事業スケジュール

網走湖呼人地区かわまちづくりについては、令和8年度に事業着手し、令和17年度に完了する予定です。

直轄事業費は約7.3億円※を予定しています。

※その他費用として、自治体事業費約0.2億円を含め、総事業費は約7.4億円を予定しています。

上記事業については、地域の方々や関係機関と連携・調整を図りながら計画的に実施します。

表 事業の進捗状況

種別	事業者	整備内容	年次						
			R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～
拠点整備	網走市 北見河川事務所	・利活用拠点	計画登録				検討		モニタリング
施設整備	網走市	・案内看板					検討	整備	
水辺整備	北見河川事務所	・河川管理用通路 ・親水護岸 ・緩傾斜整備 ・高水敷整正 ・取付道路		検討		整備			